

2023年8月7日

課題名：高齢者の進行胃癌における2次療法の検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、胃癌の2番目の抗癌剤治療における血管新生阻害薬やタキサン系抗癌剤の有効性および安全性を調べています。本研究では、高齢者に対する有効かつ安全な胃癌の抗癌剤治療を目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2017年4月から、2023年5月までの間に、胃癌の2次治療としてラムシルマブ（サイラムザ）を含むレジメンが施行された80歳以上の方（27名）。

◆研究に使用される情報◆

診療録（カルテ）から患者さんの性別や年齢、レジメン開始日・終了日、PS（Performance Status）、CT画像での転移臓器数、腫瘍の縮小率、有害事象、前治療・後治療の情報を収集し、研究に用います。研究は倉敷中央病院外科で行います。

◆情報の研究利用開始日◆

2023年10月4日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）からの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
外科 研究責任者 山本 嵩

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって

当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難である等の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明